



いずみ野

令和2年6月1日
校長 齋藤 敦子



<https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/izumino/>

学校教育目標 「自分が好き 友達が好き 学校が好き このまちが好き」
～心豊かに学び合い、ともによりよく生きようとする子供～

居心地のよい学校 ～子供たちの健康と安全を第一に～

校長 齋藤 敦子

水無月に入り、学校に子供たちの声が戻ってきました。教職員一同、この日を楽しみに待っていました。今年度、二度目のスタートです。また、子供たちの活動を待っている田んぼや畑にとっては梅雨の季節が恵みとなり、豊かな実りにつながるのでしょうか。今年は教職員が横山義一様（田んぼ）、横山正美様（畑）、ボランティアの皆様を支えられ、活動を進めています。

保護者の皆様、地域の皆様には、感染拡大防止に向けての対応、休校延長についてのご理解とご協力をいただきましてありがとうございます。新たな学習支援、学級づくり、友達づくりに向けて、これからのさまざまな出来事や経験が、次の成長へのステップとなるよう、「チームいずみ野」教職員で最善を尽くして参ります。



ソーシャルディスタンスを保ちながらの運動

さて、ちょっとした心がけひとつで、穏やかな気持ちになれたり、居心地のよい空間になったりします。その秘訣として、子供たちに、朝会で話していく内容の一部をご紹介します。それは、「あ・い・う・え・お」の約束です。「あ」…あいさつと朝ごはん、「い」…いい返事、「う」…運動、「え」…笑顔、「お」…思いやりの五つです。その中でもあいさつは、「おはようございます」や「ありがとうございます」などが言えることが大切です。きちんとさえ言えたら、友達が増えていきます。また、日常生活ではハイタッチをすることで、心を通わせる場面もあります。しかしながら、このような時期においては人との接触を控えることから、いずみ野小学校では、ハイタッチの代わりに手を振ることもあいさつの一つと考えました。皆で手を振って（ふりふり）、笑顔（スマイル）が広がるように、「ふりふりスマイル」と名付けて笑顔を増やす運動を進めていきます。長い休校が続く、子供たちにとって少しでも居心地のよい学校生活を送ることができるように考えております。

学校は健康と安全を第一に、子供たちが徐々に学校生活のリズムに慣れ、学習に集中することができるように、学校・学年で歩調を合わせながら教育活動に努めて参ります。分散登校・短縮授業による学校再開になりましたが、引き続き子供たちの感染予防への意識高揚と徹底を図っていきます。

ご家庭におかれましても、マスクの着用・健康観察のご協力をよろしくお願いいたします。